

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-5-1 産業人材の育成
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	雇用政策課長 得能 昌信	電話番号	0852-22-5296
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	技能体験事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	技能やものづくりに対する関心を高める。	
事業概要	○技能際の開催 県民に技能への関心を高めてもらうため技能際を開催し、島根県職業能力開発協会にその経費の一部を助成する。 ○ものづくり体験教室 中学生にものづくりへの関心を高めてもらうため、ものづくり体験教室を開催する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
				技能祭の来場者数	目標値	4,000	4,000	4,000	
			実績値	4,100	2,500	3,200	3,367		
			達成率		62.50	80.00	84.20		%
	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
				中学生ものづくり体験教室の参加生徒数	目標値	1,000	1,000	1,000	
			実績値	916.00	900.00	1,090	972		
			達成率		90.00	109.00	97.20		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	6,166	6,443
うち一般財源(千円)	6,166	6,443

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○技能祭来場者数	3,367人 (H25 3,200人)
// 技能体験者数	2,107人 (H25 1,978人)
○中学生ものづくり体験教室	18校、参加生徒972名 (H25 19校 1,090名)

6. 成果があったこと（改善されたこと）

○「技能祭」の開催
 H25年度より、会場スペースを倍増し出店ブースも増やしたことから、入場者数が増え県民の技能への関心を高める機会となった。

○「中学生ものづくり体験教室」
 学校現場に定着しつつあり、各職種を体験することにより、技能に対する関心を深める機会を設けることができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

○技能際の開催
 目標到達に向けて入場者を更に増やす。
 ○中学生ものづくり体験教室
 実施校が固定されつつある（実施校での評価は高い）。

②困っている状況が発生している「原因」

○技能際の開催
 更なる周知が必要と思われる。
 ○中学生ものづくり体験教室
 未実施校に、「中学生ものづくり体験教室」の良さが理解されていないことが考えられる。

③原因を解消するための「課題」

○いずれも関係機関との連携を更に強化し、一層の周知を図ることが必要である。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

○技能際の開催
 引き続き多くの県民に会場してもらえよう、島根県職業能力開発協会や技能士会連合会とも連携しながら、PRを強化していく。

○中学生ものづくり体験教室
 未実施校で新たに取り組んでもらえるよう周知をしていく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）